

2026年12月期第2四半期(中間期) 決算参考資料

2026年8月10日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード: 9656)

<https://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 2026年12月期第2四半期(中間期)連結決算(累計).....	3
2. 2026年12月期通期連結業績予想.....	7
3. 業績推移.....	8
4. 2026年12月期第2四半期末配当の件.....	9
5. 下期の具体的取組.....	10

1. 2026年12月期第2四半期(中間期)連結決算(累計)

① 連結決算概要

(単位: 百万円)

	2026年	2025年	増減	増減率(%)
売 上 高	3, 003	3, 012	△8	△0. 3%
売 上 総 利 益	526	611	△85	△14. 0%
営 業 利 益	186	277	△91	△32. 9%
経 常 利 益	171	278	△107	△38. 6%
親会社株主に帰属 する中間純利益	206	202	4	2. 1%

当中間連結会計期間におきましては、インバウンド需要が引き続き高水準を維持するとともに、国内経済における雇用環境の改善が続きました。一方で、原油価格の高騰を背景とした物価上昇がサービス消費を抑制する動きもみられ、事業を取り巻く環境は不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、「中期経営計画2026(2024年12月期～2026年12月期)」の最終年として、各事業の収益力強化や経営効率化の推進に加え、人的資本経営・サステナビリティ経営の観点から中長期的な企業価値の向上に向けた取り組みを実施いたしました。

当期の業績につきましては、主力となる九州の遊園地事業において3月に実施した料金改定により収益基盤の強化を図りましたが、天候不良による入園者の減少が大きく、売上高および営業利益・経常利益は前年実績を下回ることとなりました。一方で、ホテルサンプラザの事業譲渡に伴い繰延税金資産の回収可能性を見直し、法人税等調整額(益)を計上したため、親会社株主に帰属する中間純利益は前年実績を上回ることとなりました。

② セグメント別売上高・損益

(単位: 百万円)

中間連結会計期間	売上高			セグメント損益		
	2026年	2025年	増減	2026年	2025年	増減
遊 園 地	1,354	1,365	△11	288	348	△60
ゴ ル フ	540	534	5	55	63	△8
ホ テ ル	840	834	5	△55	△33	△21
不 動 産	95	81	13	69	55	13
土 木 ・ 建 設 資 材	173	195	△22	34	46	△11
消 去 又 は 全 社	—	—	—	△205	△202	△2
合 計	3,003	3,012	△8	186	277	△91

【遊園地】

売上高:

九州の遊園地は、開園60周年を迎えるにあたり、施設面では、最新のXR技術を活用した「ZOMBIE STORM」を新規導入したほか、アトラクション2機種・園内飲食1店舗をリニューアルオープンしました。また、3月よりアトラクションフリーパス料金の改定を行い、収益基盤の強化を図りました。

イベント施策では、子ども・ファミリー層向けに高い訴求力を有する動画クリエイターを起用し、各種イベントを企画・実施しました。このほか、未就学児を中心に人気の「こどもスタジオ～NHKキッズキャラクター大集合！～」をフロアイベントとして開催したほか、春休みからゴールデンウィークにかけて多彩なキャラクターショーを開催し、ファミリー層を中心とした集客を図りました。

また、インバウンド向けの認知度向上に向け、海外向け広告メディアとの協業や海外旅行代理店との提携を進め、海外顧客への情報発信体制の強化を図りました。

以上の取り組みを行いました。春休み期間後半を中心に天候不良の影響を受け、利用者数は前年同期より減少しました。

北海道のスキー場は、降雪量不足の影響で営業期間が前年と比べて約3週間短縮となり、利用者数は前年同期より減少しました。

北海道の遊園地は、ゴールデンウィークを中心に各種キャラクターショーを開催するなど集客に努め、天候も良好に推移したため、利用者数は前年同期より増加しました。

以上の結果、売上高は11百万円の減収となりました。

セグメント損益:

売上高の減少に伴い、セグメント損益は60百万円の減益となりました。

次ページへ続く

② セグメント別売上高・損益（前ページより続き）

【ゴルフ】

売上高：

グリーンランドリゾートゴルフコースでは、さまざまな特色あるオープンコンペを開催するとともに、利用状況に応じた予約枠の調整による収益機会の確保に取り組みました。また、クラブハウス床の改修工事を実施して環境の刷新を図りました。

大牟田ゴルフ場・広川ゴルフ場では、大型ゴルフコンペの開催に向けた営業活動を積極的に実施し、集客の確保に努めました。また、館内照明のLED化をはじめとする設備の更新を行うとともに、自動配膳ロボットの導入や自動精算機の増設による運営の効率化にも注力しました。

以上の結果、利用者数は前年同期より減少しましたが、グリーンランドリゾートゴルフコースにおいて前年に実施した料金改定による客単価の上昇等もあり、売上高は5百万円の増収となりました。

セグメント損益：

売上高は増加したものの売上原価の増加に伴い、セグメント損益は8百万円の減益となりました。

【ホテル】

売上高：

九州のホテルブランカでは、遊園地やゴルフ場に隣接する立地の良さを強みに、遊園地利用目的のファミリープランや利便性の高いゴルフパックを全面にアピールし、宿泊客の獲得に努めました。また、料飲部門では、鍋バイキングや中庭バーベキューなど季節ごとのメニューを展開するとともに、遊園地利用客を主要なターゲットとしたランチバイキングをPRし、集客の強化に努めました。

九州のホテルヴェルデでは、朝食メニューのグレードアップを継続して実施するとともに、OTAの会員向けメールや口コミへの返信を活用した告知にも注力しました。また、自社予約とOTA予約の効果的な活用を目的にOTAコンサルタントを導入し、より専門性の高い知見も活用することで需要動向を踏まえた料金設定により収益の最大化に取り組みました。料飲部門では、「LINE公式アカウント」を開設し、告知ツールとして活用することで集客に努めました。また、洋食レストラン「フォンターナ」ではこれまでのランチバイキングに加え、テイクアウト弁当を期間限定で販売し新たな需要の掘り起こしを図ったほか、和食レストラン「小岱」では高級感はそのままだに、手ごろな会食利用の需要喚起にも努めました。宴会部門では、シティホテルとしての強みを活かした営業活動を実施するとともに、「カニ祭り」などのイベントの継続開催により売上高拡大を図りました。

北海道のホテルサンプラザでは、ビジネス需要や近隣のイベント需要を踏まえた宿泊プラン設定を行い、売上の確保に努めました。

北海道の北村温泉ホテルでは、料金改定による収益基盤の強化に取り組むとともに、日帰り入浴客のレストラン利用率上昇のためのセットプランの販売促進を実施しました。

以上の結果、売上高は5百万円の増収となりました。

セグメント損益：

売上高は増加したものの売上原価の増加に伴い、セグメント損益は21百万円の減益となりました。

次ページへ続く

② セグメント別売上高・損益（前ページより続き）



【不動産】

売上高:

前年7月より一部テナントの賃貸料を改定したことにより、売上高は13百万円の増収となりました。

セグメント損益:

売上高の増加に伴い、セグメント損益は13百万円の増益となりました。

【土木・建設資材】

売上高:

土木工事受注が低調に推移し、売上高は22百万円の減収となりました。

セグメント損益:

売上高の減少に伴い、セグメント損益は11百万円の減益となりました。

2. 2026年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2026年予想	2025年実績	増減	増減率
売 上 高	7,000	6,452	547	8.5%
営 業 利 益	780	735	44	6.1%
経 常 利 益	740	716	23	3.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	500	487	12	2.6%

※連結業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、令和8年熊本地震による当社グループ施設への直接的な被害は発生しておりません。

一方で、地震発生後、一部施設において利用者数の減少や予約のキャンセルが発生しております。

また、高速道路や鉄道の一部区間の不通等により、今後の利用者数への影響が懸念されます。

現時点においては、これらによる業績への影響額を合理的に算出することが困難であるため、引き続き精査を進めております。

今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

3. 業績推移



① 通期

(単位: 百万円)

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年 予想
売上高	5,732	6,406	6,412	6,452	7,000
売上総利益	1,368	1,535	1,454	1,425	—
営業利益	763	888	774	735	780
経常利益	820	891	780	716	740
親会社株主に帰属する 当期純利益	428	463	534	487	500

② 中間 (累計)

(単位: 百万円)

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
売上高	2,538	2,970	2,943	3,012	3,003
売上総利益	554	698	582	611	526
営業利益	271	392	258	277	186
経常利益	324	401	274	278	171
親会社株主に帰属する 中間純利益	228	307	193	202	206

4. 2026年12月期第2四半期末配当の件

当社は、2026年12月期第2四半期末の配当金につきまして、2026年8月10日開催の取締役会にて、1株につき、5円とすることを決議しました。

なお、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
第2四半期末	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭
期 末	9円00銭 普通配当9円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭	11円00銭 普通配当11円00銭	10円00銭 普通配当10円00銭	10円00銭 普通配当10円00銭 (※)
年 間	12円00銭 普通配当12円00銭	14円00銭 普通配当14円00銭	16円00銭 普通配当16円00銭	15円00銭 普通配当15円00銭	15円00銭 普通配当15円00銭 (※)

※2026年期末配当及び年間配当につきましては、2026年8月10日時点における予想額となります。

5. 下期の具体的取組

【遊園地事業】

①グリーンランド(九州)

◆「さのよいファイヤーカーニバル2026」(7月19日(日)) 開園60周年記念の目玉となる1尺玉を含む、10,000発の打上花火を実施。「さのよい踊り」コンテストには60チームが参加。

◆夏イベント

- ・「日本全国！からぴち遊園地計画」(8月7日(金)～8月31日(月)の計25日間)
YouTubeを中心に活動する人気実況グループ「カラフルピーチ」とのコラボイベントを開催中。
- ・「仮面ライダーゼッツ ショー」(8月13日(木))、「名探偵プリキュア！キュアットサマーステージ」(8月14日(金))、「ウルトラヒーローショー」(8月15日(土)) お盆期間のショーは夜間営業に合わせて18時開演の回を設定。
- ・「お盆花火」(8月13日(木)、8月14日(金)) 打上発数を約4倍(2024年比較)に増やして実施。
- ・「ワンダーイルミネーション」(8月13日(木)～8月15日(土))
- ・「九州ガールズウィングフェスティバル」(8月16日(日))
- ・「かわいすぎるマスコット展」(開催日程調整中)

◆アトラクション

- ・楽しい仕掛けが盛りだくさんの7つのプール「ウォーターパーク」営業中！
(7月25日(土)～8月31日(月)、9月5日(土)、9月6日(日))
土日祝・お盆期間はDJが迫力のウォーターキャノンで盛り上げる「スプラッシュフェス」を開催。
- ・夏季限定アトラクション「びしょぬれメイズ」(7月18日(土)～8月26日(水))

◆秋以降のイベント

- ・夜の遊園地貸し切り大合コン「グリランナイト」(9月5日(土)) 各地で人気を集めるビッグフェスを初開催。
- ・「COSPATIO—in グリーンランド」(10月24日(土)、25日(日))恒例のコスプレイベントを今秋も開催。
- ・その他、土日やシルバーウィークを中心に話題性の高いイベントを開催予定。

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

◆スペシャルイベント

- ・「JOIN ALIVE(ジョインアライブ) 2026」(7月18日(土)・7月19日(日))
- ・「いわみざわ彩花まつり花火大会2026」(7月25日(土))
- ・「FIREWORKS illusion いわみざわ公園花火大会2026」(8月22日(土))

◆夏休み期間(8月10日以降)のイベント

- ・「日本全国！からびち遊園地計画」(7月24日(金)～8月24日(月)) 九州遊園地と同時開催。
- ・名探偵プリキュア！キュアット！サマーステージ(8月10日(月)、11日(火祝)、12日(水)、14日(金))
- ・ウルトラマンテオ ショー(8月13日(木))
- ・仮面ライダーゼッツ ショー(8月15日(土)、8月23日(日))
- ・それいけ！アンパンマン ショー(8月16日(日))
- ・ウルトラヒーローショー(8月30日(日))

◆秋以降のイベント

- ・フィッシャーズイベント～みんなに会いに行くよ！全国公演ツアー～(9月21日(月祝))
- 他、シルバーウィークを中心に話題性の高いイベントを実施予定。

◆新規アトラクション

- ・新アトラクション「ドリームスパイラル」 7月25日(土)から営業開始。

【ゴルフ事業】

3つのゴルフ場を有するスケールメリットや、カート乗り入れ可能の特色を活かした集客に注力する。また、カート道路の補修や樹木の管理などのコース整備や、設備の更新を行い、顧客満足度の向上に努める。

■「グリーンランドリゾートゴルフコース」

- ・36ホールを有する強みを活かし、多彩なコンペ企画やプランの造成、予約枠の効率的な運用による集客に努める。
- ・海外ゴルフツアー送客エージェントと引き続き連携し、インバウンド集客の強化を図るとともに、海外ゴルファー向けの案内体制の整備を進める。
- ・夏期の集客対策として、2人乗りカートや冷房の効いた休憩場所などの猛暑対策をPRするとともに、早朝からのプレーの利用促進に取り組む。

■「有明カントリークラブ大牟田ゴルフ場」ならびに「久留米カントリークラブ広川ゴルフ場」

- ・両メンバーズゴルフ場において、需要変動を見極めた柔軟な価格設定による集客及び売上の確保に努める。
- ・近隣企業や団体との関係を強化し、既存のコンペの継続開催を図るとともに、新規コンペの誘致を目指す。

【ホテル事業】

■ホテルブランカ・ヴェルデ

近隣地域で宿泊施設の新設が相次いでいる事業環境を踏まえ、オフィシャルホテルとしての差別化を図り、園内の飲食店舗や物販店舗と協力してサービス面を強化し、集客に活かす。

【ホテルブランカ】

- ・平日稼働率の上昇や、インバウンド客の取り込みに力を入れる。
- ・予約サイトの口コミを参考に、設備面・サービス面でのお客様のニーズを的確に把握し、顧客満足度向上に努める。

【ホテルヴェルデ】

- ・自社予約と外部予約サイトを効果的に活用し、適切な宿泊価格設定による収益最大化に努める。
- ・公式LINEアカウントを活用して、レストランを中心に新規のリピーター獲得を目指す。
- ・従来の婚礼に加え、記念写真とご家族での食事会の「ファミリーウェディング」の営業を行い、新しい需要の取り込みを図る。

■北村温泉ホテル（北海道）

- ・良質な天然温泉を強みに宣伝に努めるとともに、新たに海外向けOTA（オンライン旅行代理店）との提携を行い、インバウンド需要の取り込みを図る。

【不動産事業】

・既存テナントの賃貸料収入による収益基盤の強化に努めるとともに、新規テナントの誘致によるグリーンランドリゾートエリアの活性化や、遊休社有地の有効活用・売却に向けた検討を進める。

・グリーンランドリゾートエリアの変遷

- 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
- 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
- 1968年 9月 三井グリーンランドホテル(ブランカ)営業開始
- 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
- 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
- 1997年 7月 KKT住宅展示場オープン
- 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
- 2003年12月 タマホームグリーンランド営業所(住宅展示場)オープン
- 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
- 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
- 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
- 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
- 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
- 2018年 9月 賃貸アパート(1棟4戸)事業開始

【土木・建設資材事業】

- ・バイオマス火力発電所の燃料投入業務の受託、ポゾテック・コールサンド等の建設資材販売を
堅実に実施する。
- ・営業ネットワークを生かした土木工事等の獲得に努める。